

< 参考資料 >

17の戦略分野と東京都の取組

17の戦略分野と東京都の取組 ①

17の戦略分野

都の施策(主なもの)

★赤字 新たな方向性

①AI・半導体

- 「人工知能基本計画」の策定
- 国産フィジカルAI(特にAIロボット)モデル開発
- AI時代に不可欠の先端半導体開発
- 最先端半導体研究開発・設計拠点整備
- 各領域でのAX推進 等

- 「東京都AI戦略」の策定・推進
- 大学と連携した国産ベースの行政特化型AIモデルの開発実証の実施
- AI時代に必須のデータセンターの省エネ・効率化モデルの構築
- 生成AIを活用した業務の高度化、効率化／職員向けAI関連育成プログラム
- ★ 都政におけるAXの推進
- ★ ものづくりの力を生かしたフィジカルAIの実装 地域未来
- ★ 他業種の中小企業が連携したロボティクス産業の競争力強化
- ★ 先端人材育成・リスキリングプログラム(都立校の活用)

②デジタル・サイバーセキュリティ

- AI利活用等に不可欠なデータ精製(AI-Ready化)・連携(データスペース)技術の研究開発・実証
- セキュリティ確保された国・地方のDX基盤
- 国内データセンター立地促進
- 地方における人材育成やDX推進エコシステム
- 自動運転の推進 等

- GovTech東京の区市町村との協働
- 東京都公式アプリ(東京アプリ)による様々なサービスの提供
- AIを活用したサイバー攻撃のモニタリング
- AI時代に必須のデータセンターの省エネ・効率化モデルの構築【再掲】
- 公共施設や事業者向け手続き等のワンストップ化
- 自動運転の社会実装の推進
- ★ GovTech東京発の仕組みを全国で展開
- ★ 政策を届ける力の基盤作り(国への提案要求含む)

③情報通信

- 大容量・低遅延・低消費電力での接続という特徴を有するオール光ネットワーク(APN)の研究開発・標準化 等

- ファンドを活用した国内企業のITインフラ強化に向けたデータセンター整備
 - 海底光ファイバーケーブルの計画的な更新や安定運用に向けた調査検討
 - 高高度プラットフォーム(HAPS※)の行政分野活用に向けた調査・検討
- ※High Altitude Platform Station:成層圏を飛行する無人航空機等に携帯電話基地局を搭載したもの

17の戦略分野と東京都の取組 ②

17の戦略分野	都の施策(主なもの)
④量子 ● 国産量子コンピューティング開発に向けた研究開発支援 等	➢ ディープテック※の事業化に向けたプロジェクトへの支援 ※社会的な課題の解決を目指す科学的な発見や革新的な技術 ➢ 都内における研究開発拠点や生産拠点を整備する取組への支援
⑤防衛産業 ● 小型無人航空機の機体・重要部品の量産設備投資の支援 ● 「ファストパス調達」の推進 等	
⑥航空・宇宙 ● 次世代航空機、無人航空機、空飛ぶクルマ等の開発強化	➢ 中小企業による航空宇宙産業への参入支援 ➢ ディープテックの事業化に向けたプロジェクトへの支援【再掲】 ➢ 空飛ぶクルマの実証飛行プロジェクト ★ 企業・大学等と連携した技術開発から実証・事業化までの一体的な推進
⑦海洋 ● 海洋無人機(海洋ドローン)の技術開発 等	➢ 国境離島(沖ノ鳥島・南鳥島)の維持等に向けた研究調査・情報発信
⑧造船 ● ゼロエミッション船など次世代船舶の開発 ● 造船業再生基金を通じた建造能力向上 等	➢ 水素船や電気船舶など、CO2を排出しない次世代船舶の開発・活用
⑨マテリアル(重要鉱物・部素材) ● 原材料の調達先の多角化 ● 廃棄された磁石のリサイクルに係る技術開発及びスキーム確立 ● 省レアアース/レアアースフリー磁石等開発 ● 永久磁石の製造能力増強 ● 公共工事におけるグリーン鉄の調達 等	➢ リチウムイオン電池の適切な分別等を促す普及啓発や危険性の注意喚起 ➢ 電池回収による再資源化のムーブメントの推進 ★ 都が率先した資源回収プロジェクト(東京鉱山) ★ 下水を活用した、肥料原料であるリンの国産化

★赤字 新たな方向性

地域未来

17の戦略分野と東京都の取組 ③

17の戦略分野	都の施策(主なもの)
⑩合成生物・バイオ ● バイオものづくり: バイオ製造技術プラットフォームの高度化 ● バイオ医薬品・再生医療等製品等: 創薬ベンチャーへの中長期支援、国内製造拠点整備等	➢ 木質バイオマスの熱利用等の実現可能性について調査を実施 ➢ カンパニークリエーション※の定着に向けた創薬分野への支援を実施 ※ベンチャーキャピタル等が研究シーズを基にスタートアップを創出する有効な手法 ★ バイオを含む創薬分野における国際競争力の強化に向けた国との連携
⑪創薬・先端医療 ● 創薬ベンチャー支援、国内製造拠点整備【再掲】 ● 実用化を担う人材の育成・流動化 ● スタートアップ等への投資呼び込 ● 基礎研究力・治験実施体制の更なる強化 ● AI・データ利活用 などを一気通貫で支援等	➢ 医療DXの推進(新たな医療情報連携基盤の構築など) ➢ カンパニークリエーションの定着に向けた創薬分野への支援を実施【再掲】 ★ バイオを含む創薬分野における国際競争力の強化に向けた国との連携【再掲】
⑫資源・エネルギー安全保障・GX ● 次世代型太陽電池の公共施設・インフラ空間等(空港、道路等)への率先導入 ● 水素社会実現に向けた新たな実行計画の推進(重点地域での商用車導入、インフラ整備等、モビリティ起点とした社会実装推進等)	➢ Airソーラー(次世代型太陽電池): 都有施設、企業への設置支援 ➢ 既存都有施設の壁面等への太陽光発電設備設置、窓断熱化 ➢ EVの普及拡大と電力系統の安定化の両立を促進 ➢ 伊豆諸島海域における2035年までの浮体式洋上風力の導入 (★国への提案要求含む) ➢ 中央防波堤埋立地におけるグリーン水素の製造・利活用 ➢ ファンド等を通じたGXスタートアップの育成や投資の促進 ★ 水素社会の実現に向けた取組の強化(他自治体との連携) ★ 都が率先した資源回収プロジェクト(東京油田)
⑬フュージョンエネルギー ● ITER計画等での研究開発、急所となる機器や装置等の強みを生かし、フュージョンエネルギー発電システムを世界に先駆けて確立	➢ 都内における研究開発拠点や生産拠点を整備する取組への支援 ★ 新技術の開発促進に向けたスタートアップとの連携

★赤字 新たな方向性

地域未来

17の戦略分野と東京都の取組 ④

17の戦略分野	都の施策(主なもの) ★赤字 新たな方向性
⑭防災・国土強靱化 デジタル等新技術の一層の活用による防災技術の開発・商品化・実装の好循環創出 等	- AIなど先端技術を活用した防災DXの推進 - 重点地区における浸水対策の強化(貯留施設などの整備) - 中小河川の整備(時間50ミリ降雨に対応する護岸等整備など) - 緊急輸送道路及び住宅の耐震化(★規制の見直し含む) - 災害時に活用できるトイレ等の確保などを行う区市町村の支援 - 多摩地域の防災拠点の機能強化 ★ 適切な被害想定への見直し、不断の強靱化対策
⑮港湾ロジスティクス - 自動化・遠隔操作化など港湾荷役機械の導入支援 - 国際コンテナ戦略港湾の機能強化 - コンテナターミナルの自動化・遠隔操作化 等	- 大井コンテナふ頭の最先端コンテナターミナルへのバージョンアップ - コンテナターミナルの予約制導入 - 東京港デポ活用による空き時間帯の集中的なコンテナ搬出入の仕組み構築 - 国の「Cyber Port」とのシステム連携
⑯フードテック - 植物工場システムと日本品質農産物の国内外への展開 - サーモンなど陸上養殖の国内・海外への展開 等	- 最先端のテクノロジーで植物工場を展開する企業の支援(いちご等) - 高付加価値な魚種の養殖業の支援(チョウザメなど) - スタートアップによる農林水産分野の課題解決 - 農業スマート化、農業における暑熱対策や省力化支援 ★ フードテック実装拠点の提供・構築(規制の見直し含む) 地域未来
⑰コンテンツ - ゲーム、アニメ、マンガ等を主要分野として支援 - ゲーム分野における人材・製作・海外展開支援 等	- 東京ならではの魅力やコンテンツの一層の磨き上げ・にぎわいの創出 - 東京アニメアワードフェスティバル開催/国際美術展TOKYO ATLAS開催 - アニメーター、アート人材等の育成支援 ★ 東京の強みを活かしたエンタメ産業クラスターの形成 地域未来

東京都の産業クラスター計画

(策定の方向性)

東京の集積を戦略的に活用し、「強い経済」を構築

- 人、技術、情報等の多様なアセットを組み合わせ、産業集積を「地域未来戦略」で主導
- 東京での勝ち筋となる5分野へ集中投資、産業クラスターを形成し、日本全体の成長へ

強い経済を実現するための大前提は、イノベーション創出のインフラを整えること

デジタル

競争力の源泉となる「デジタル」の力を最大化



レジリエンス

産業の原動力を、より強く、サステナブルに



水素社会など

水素等の新エネルギーを都市にインストール



こうしたインフラを土台に、東京の成長を牽引し、様々な分野に幅広く波及する産業クラスターを形成

AI・半導体

フィジカルAI

他業種連携で新産業を創出



ものづくり産業を次世代型の
ロボティクス産業へ発展

フードテック

フードテック

食×農・水 のイノベーション



先端技術を活用し持続可能な
都市型の農業・水産業を実現

コンテンツ

エンタメ・コンテンツ

アニメ・ゲーム等を世界へ



世界で勝つコンテンツを創出
グローバルにビジネス展開

航空・宇宙

宇宙

研究から実証まで一体的展開



企業・大学・研究所等の集積を
活かし都市型宇宙産業を確立

創薬・先端医療

ライフサイエンス

スタートアップの力で革新を



最先端のラボで事業化を加速
世界をリードする産業へ発展

本ページの一部は、生成AIを活用して東京都が作成したものです。

都市を支える電力レジリエンスの向上

- データセンター等により、**電力需要が急増する**中、国際競争力の鍵は**電力**
- **再エネの導入促進や需給の最適化を推進することで、都市のレジリエンスを高めていく**

電力システムの増強や需給安定化等を国へ要望しつつ、以下の取組を展開し、国と一体でエネルギー対策を推進

データセンター

電力需要、脱炭素、まちづくりとの両立

環境に配慮した整備促進

- ・ 都独自にDC事業者の**情報を把握する仕組み**を整備
- ・ 省エネ・再エネに取り組む**DCを認定する制度**の創設や**高効率化**を支援

地域と共生するDC

- ・ DCの**廃熱を周辺地域で有効利用**する先駆的な取組の実装化を支援
- ・ 環境やまちづくりとの調和が図られたDCの整備に向け**ガイドライン**を策定



再エネの導入促進

再エネの更なる推進で電力確保

太陽光発電設備の導入促進

- ・ 新築住宅への**設置義務化**
- ・ 事業所内の設備導入に加え、都外からの再エネ調達も支援

新技術の活用

【Airソーラー】

- ・ 事業者や区市町村の設置を支援

【浮体式洋上風力】

- ・ 伊豆諸島海域で**2035年までにギガワット級**ファームの導入を目指す

【地熱発電】

- ・ 次世代型地熱の導入促進



東京国際クルーズターミナル
(都施設における実装検証)



ランビオン洋上風力発電
(イギリス)



八丈島噴気試験

最適な電力需給

調整力を高めて需給の最適化

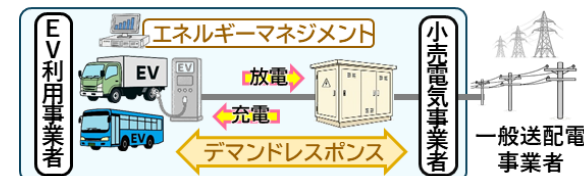
蓄電池等の設置促進

- ・ 家庭・事業所の**蓄電池**や、需給バランス調整に資する**系統用の大規模蓄電池**の設置を促進
- ・ **プラグインビークル**の普及促進



電力需給の調整機能確保

- ・ 小売電気事業者と連携し、**業務用EV等**を電力需給の調整リソースに活用



➡ こうした取組に加え、次世代エネルギーとして期待される水素の社会実装も進め、エネルギー構造の強靱化を図る

本ページの一部は、生成AIを活用して東京都が作成したものです。

水素社会を都市にインストール

- 自治体や産学官との連携を通じた需要と供給の創出とともに、産業の更なる集積・高度化を図り、イノベーションを加速。東京を「世界を牽引するエネルギーインフラ都市」へアップデート
- 臨海部に国内外の需給等をつなぐ結節点「TOKYO Hydrogen Hub(仮称)」を形成し、Hubを起点にパイプライン、運搬、ステーション等のインフラを都市にインストール

水素社会のイメージ図



【つくる】 水素供給基盤の整備

- ・臨海部の水素製造拠点やオンサイトによる地産地消ST等による製造促進
- ・産業集積によりイノベーションを加速
将来のフュージョン研究等の先端技術等にも資する技術基盤を形成

【つかう】 都市型の先行的需要創出

- ・水素STを拠点としたバス・トラック等の商用モビリティの実装
- ・非エネルギー分野での利活用促進
- ・発電・コジェネによる都心部(DC等)利用
電化困難分野での水素利活用を促進
- ・未利用CO₂を活用したメタネーションや合成燃料の製造

【はこぶ】 『水素インフラ』の構築によるネットワーク形成

- ・臨海部から都心部へ繋ぐパイプラインやトレーラーによる配送網の整備
- ・臨海部や都市内の安全な供給拠点等(ST等のインフラ)の整備

【つなぐ】 広域連携による社会実装の推進、取引環境の整備

- ・水素大動脈構想実現に向けた国・自治体等との連携強化、国際連携の推進
- ・需給をつなぐ取引環境(市場、基準・ルール等)整備、国際市場との連携

都の先導的な取組により官民での投資を促進
水素社会の実装に向けた各種取組を加速

【パイプライン等で需給を結ぶHubを形成】



ものづくりの力を生かしたフィジカルAIの実装

- 都におけるモノづくりの知見及び中堅・中小企業、SU、研究機関、大学等の集積を生かし、各プレイヤーをつなげ、**研究開発から社会実装までを一体的に支援**することで、**あらゆる産業でフィジカルAIが活用されるロボティクス産業クラスター**を形成していく

【フィジカルAIの要素技術】



【頭脳】
AI・データ産業

【計算基盤】
半導体・
コンピューティ
ング産業

【五感】
電子部品・セ
ンサ産業

【神経】
制御・組みみソ
フトウェア
産業

【身体】
機械・ロボット
部品産業

AI、ものづくり産業など、
様々な業種の技術を融合

クラスターの機能

フィジカルAI研究

SUや研究機関が、最先端のAI技術で研究開発。

試作品作成・実証

製造業の技術を生かし、試作品の検証と、フィードバック。

オープンな場

大学・大学院が自由に出入りし、研究や議論に参加。

サロンにも

研究開発の後は、気軽に交流できるサロンで新しいアイデアを。

社会実装

制作したAIロボットを実社会で利用し、価値を創造。



※区部のイメージ

使わなくなった町工場等を活用し、SUが研究開発。学生のたまり場のようになり、こうした拠点が複数立ち並ぶ。



※多摩地域のイメージ

オープンなガレージ風の拠点で、研究機関・大企業と連携し開発に取り組む。学生も議論に参加。

取組の方向性

新たな技術開発の促進に
向けた連携拠点を創出

研究開発から実証まで
一体的なサポート

社会実装・ビジネスチャンス
拡大に向けたアプローチ

東京の「食」に革新を！新たな農水産業で世界をリード

- 世界を魅了する**東京の「食」**を起点として、**新たな農・水産業を共創する**クラスターを形成
- **革新**(先端テクノロジーによる食糧生産)と**伝統**(ヒトと土が生み出す多様な収穫物)の両面を持つ東京の強みを活かすとともに、それぞれが**有機的に連携し、力強い産業**を実現
- コンソーシアムを通じて、“**面白い！**” “**稼げる！**”。だから、“**人が集まる！！**”環境を創出

フードテックフロンティア

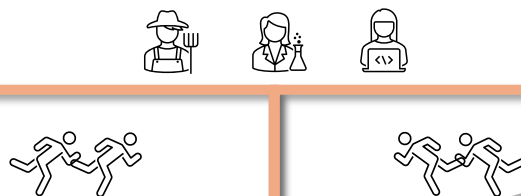
未来のカタチ:陸上養殖大規模展開

- ✓ 神津島の特性を活かしたチョウザメ養殖により新たな東京ブランドを創る
- ✓ 陸上養殖の高度な技術の集積を図る



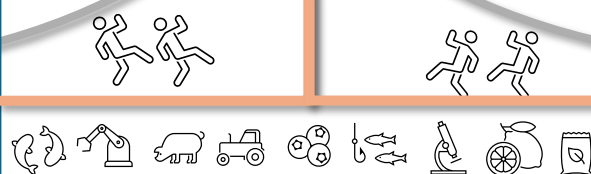
屋内農場(Indoor Farm)

- ✓ 東京は屋内農場(植物工場)の二大要素である“農業・工業”で世界トップ級の技術力と研究者が存在
- ✓ 革新的な研究開発と事業展開を推進



フードイノベーション コンソーシアム(仮称)

- ✓ ESG投資企業を呼び込み、大学や中小企業、研究機関等も参画する新事業創出に向けた場を構築
- ✓ 東京にとどまらず、世界の知恵と技術を融合させ、新たな農・水産業を共創



農業アップデートフィールド

TAMAアグリ・リビングラボ(仮称)

- ✓ スタートアップの試作ロボットやセンサー、大学で研究開発された有機肥料等を公有地の農場等でテスト



農業人材育成・集積プラットフォーム

- ✓ 新規就農者や農業後継者を育成するアカデミーから担い手を次々と排出
- ✓ 副業的農業者や援農ボランティアなど多様な担い手を育て、農業への参画を促す拠点を整備・運営



農業者 新規就農者 副業的農業者 援農ボランティア 農地所有者

コンソーシアムを中心に知恵と技術が結集し、**革新的最先端技術の実装に繋がる好循環を形成**

エンターテインメントシティを世界に発信

- 東京には、アニメ、ゲーム、音楽等の専門人材や企業、大学等が多数集積しており、集積の強みを生かした「**エンタメ産業**」の産業力強化に向けて**エンタメ産業クラスター**を形成していく

エンタメ分野の競争力強化に向けた取組の方向性

◆人材育成・海外進出支援

- TCICを活用し、ビジネス構築等の知識・ノウハウを提供
- エンタメ産業の事業者に対し、海外販売戦略立案に向けた支援の展開



◆多分野共創フィールドの実装

- CCBT等との連携強化により、分野横断的な共創のフィールドとして活用促進し、イノベーションを創出

CCBT



◆エンタメシティとしてのブランディング

- プロジェクションマッピングや東京アクアシンフォニーなどとのタイアップにより、各分野のブランディングを戦略的に展開



世界で活躍するクリエイティブ人材を多数輩出し、世界にPRする場を提供

エンタメシティの魅力を世界に発信する場

都内のイベントを国際的なイベントと連携させることで、世界的な地位を確立し、東京のエンタメの質の高さを広く世界にPR



eスポーツ



アニメ・映画・演劇



ファッション



江戸東京きらり

本ページの一部は、生成AIを活用して東京都が作成したものです。

宇宙イノベーションで世界を変える

- 都における多数の宇宙関連企業や、大学が高度に集積既存の資源を生かし、**技術開発から実証・事業化までを一体的に推進**することで、「**都市型宇宙産業クラスター**」を形成する

💡 都内の宇宙産業系企業は数百社を超える



電化皮膜工業
Value up for Metal!



YAOKI



💡 大学・研究機関も
多数存在

宇宙産業人材の育成・技術革新

- 大学と連携し、実証フィールドを提供するなど、宇宙産業人材の育成を推進
- cross Uをはじめとする、既存の宇宙ビジネスプラットフォームなどを活用し、周辺研究施設・スタートアップをはじめとした意欲ある若手プレイヤー・行政・JAXAの連携を加速し、共創の機会を創出

💡 民間のビジネスプラットホーム



宇宙ビジネス共創プラットフォーム

クロスユー

あらゆる分野のプレイヤーが

CROSS U

宇宙プレイヤーになる

参加企業数、350社以上

実証フィールド整備

- 地理・地形・都心への近接性等のポテンシャルがあることから、多摩・島しょ部を中心に実証フィールドの調査を実施
- 例えば、火山地形や未舗装・砂・岩・傾斜などがあるため、月面や惑星探査の擬似環境のポテンシャルが存在



北海道スペースポート HOSPO



鳥取砂丘月面実証フィールド ルナテラス

官民一体で宇宙産業育成の推進

- 国内の他の宇宙開発拠点との連携による実証の加速化
- 災害時の衛星監視など、防災面などでの公共調達を促す
- 国内・海外展示会出展など、国内外の需要創出に向けた支援

💡 展示会



宇宙センターのイメージ
(AIで生成)



災害時の衛星監視
のイメージ(AIで生成)



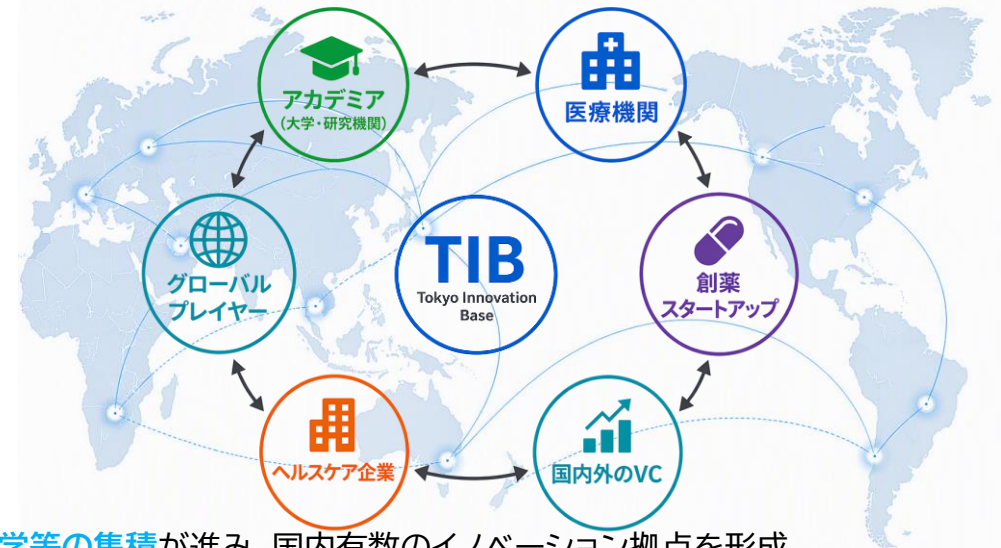
@東京ビッグサイト



創薬イノベーションを加速させ、グローバルな成長へ

- ライフサイエンスは、都民の健康と医療の質の向上を支える基盤であるとともに、次世代の経済成長を牽引する重要な分野
- 都内各地域の事業開発・研究開発機能を結びつけ、ライフサイエンス・クラスターを形成するとともに、これを支える人材の発掘・育成を進め、創薬分野をはじめとした領域でグローバルな成長につながるイノベーション創出を促進

クラスターを中心に多様なプレーヤーを結びつけ、グローバルクラスターへと成長させる



- 日本橋や本郷、高輪等の都心部は、ライフサイエンス関連企業や大学等の集積が進み、国内有数のイノベーション拠点を形成
- さらに、臨海部にもエリアを広げ、世界有数のライフサイエンス分野の支援機関がアジア初の直営拠点を設立するなど、グローバルプレイヤーも呼び込み、国際的な連携・発展を見据えた研究開発や実証を強力に後押しする新たな基盤整備を推進
- 都心部・臨海部を中心としたクラスターを基盤に、大学、医療機関、スタートアップ、VC等のステークホルダーをTIBを核に有機的に連携させ、グローバルクラスターへと成長させる

クラスター形成を支える創薬エコシステム基盤の構築

多様な人材の創出・強化に向け、カンパニークリエーション(VC主導によるスタートアップ創出)と、創薬分野で不足している経営人材の育成を両輪で展開し、創薬イノベーションを加速

都内全域がイノベーションフィールドに(TIB 2.0)

- ❑ 各分野の拠点を創出・活用し、TIBが持つ多様なプレイヤーの交流や、プレイヤー同士の連携等を広げ、都内全域をイノベーションフィールドとして展開させていく
- ❑ アジア最大のグローバルイノベーションカンファレンスSusHi Tech Tokyoで世界にイノベーションを発信

TIBのイノベーション活動を都内各地に展開

- ✓ **TIB**(Tokyo Innovation Base)は、世界・全国から多様なプレイヤーが交流する**イノベーションの結節点** "NODE"に成長
- ✓ TIB等の施設が持つ多様なプレイヤーの交流や、プレイヤー同士の連携等を都内全域の施設に広げ、東京全体をイノベーションフィールドとして発展させていく
- ✓ イノベーションの力で都内産業の成長を加速させていく



SusHi Tech TOKYO



東京のイノベーションは全国・世界と連携

- ❑ TIBが全国のスタートアップ・エコシステム拠点都市と繋がり、日本全体の成長へ
- ❑ 世界のイノベーション・ハブとも連携し、“繋がり”を生かして世界からの投資を呼び込み、産業クラスターの成長を強く後押し

各地域の社会課題解決

- ・全国各地のイベントと連携
- ・三県知事とのピッチイベント
- ・共同で進める自治体DX・AX



国産木材連携

- ・全国知事会国産木材活用PT
- ・WOODコレクション(モクコレ)



米粉連携

- ・新潟県
- ・Tokyo 米粉知新キャンペーン



- : モビリティ分野 重点地域
- : モビリティ分野 GI実証 (FC大トラック先行導入)
- : 価格差支援認定地域 ※供給事業者を記載
- : 拠点整備支援認定地域

国際金融

- ・金融・資産運用特区
北海道・札幌市、大阪府・大阪市、
福岡県・福岡市
- ・東京金融賞



世界のイノベーション・ハブと連携

パリ



ドバイ



ニューヨーク



シンガポール



〈九州圏〉

半導体・デジタル等

〈北陸圏〉食・製造業

〈東北圏〉

復興・防災等の
課題解決

水素大動脈

〈関西圏〉ライフサイエンス

〈中部圏〉ものづくり産業

TiB SusHi Tech
Tokyo Innovation Base TOKYO

✓首都東京の産業クラスターへの集中投資は、日本の成長へと繋がる

✓水素大動脈構想の実現など、国と共に、日本全体・首都東京の成長に資する取り組みを一層推進

規制改革

東京・日本の持続的な成長に向け、躊躇なき規制改革が必須

- 東京・日本の成長を実現するには、大胆な投資のみならず、**成長やイノベーションの障壁**となる**制度や規制を見直す「規制改革」が不可欠** ※以下は、主な分野の方向性を例示

成長の基盤である電力・エネルギー・資源政策を転換・抜本的強化

電力・データセンター

- 送電網を国家インフラとして位置付け、成長投資を前倒し、全国の送電部門の運用権限を一元化
- AX時代の基盤インフラであるデータセンターの国内における機能別・最適配置方針の策定

電源・蓄電基盤

- 洋上風力等の早期実装や、Airソーラー・蓄電池・EVを分散型の電源・蓄電基盤にするための仕組みづくり
- Airソーラーの早期実装に向け、特徴を活かした設置・施工方法や性能評価・規格を整備

資源

- 水素政策の推進に向け、国が関与する企業体を創設。インフラ整備と需要形成を一体的に推進
- リンの戦略的資源化に向け、下水由来リンの全国的な買取・貯蔵制度を創設

東京・日本の成長を牽引する産業政策・都市づくりを推進

フィジカルAI

- 福祉・医療、モビリティなど、様々な分野への実装を見据え、制度のあり方を検討・整備

フードテック

- 植物工場の実態を反映した名称・定義付け。農地以外の設置でも税優遇の対象に

ライフサイエンス(創薬)

- 医療・介護データ等の一元管理基盤を早期構築。創薬等へのデータ活用促進のインセンティブ創設

企業・スタートアップ

- 中小企業から中堅企業になるインセンティブの創設、SUの更なる成長の取組を加速

都市インフラ

- 自動運転や空飛ぶクルマ・ドローン等の実装を加速。新たな空のルールづくりを推進

まちづくり

- 都市計画に「リノベーション促進地区」を新設。各種規定の適用を緩和し中小ビルを再生

AXの実現に向け、制度や社会構造そのものをAI前提に再設計

- 制度や社会の構造そのものをAI前提に再設計し、東京・日本の成長に不可欠なAXを推進

東京23区の大学定員規制について

規制は地方創生の名の下に始まったが・・・

進学による若者の東京流入を抑制すべきという地方の主張を背景に
「地方大学・産業創生法」が成立し、東京23区の大学の定員規制が始まりました。

地方創生に関する議論



若者が大学入学時に地方から東京に出て行ってしまおう。

これ以上、若者が地方から東京に出て行かないように
東京23区の大学の定員を増やせないようにしよう！



地方大学・産業創生法(平成30年成立)

- ▶ 目的 地域における若者の就業、進学を促進し、地域の活力の向上及び持続的発展を図る
- ▶ 手段 地方への交付金、東京23区の大学の定員規制
- ▶ 期間 令和9年度末(制度のあり方について令和8年度に検討)

制度の目的
「地域における若者の修学及び就業を促進」
手段
「東京23区の大学定員増を抑制」

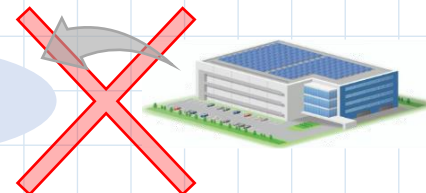
目的にかみ合わない手段であり、不合理な制度

規制によって、23区の大学は時代のニーズに応じた大学改革ができない

23区の大学は、「23区にある」という理由だけで定員を増やせず、学部・学科の新設のほか、キャンパスの移転や再編も妨げられています。

規制によって妨げられていること

- ①新しい学部や学科を作る ②ニーズの高い既存学部等の定員を増やす ③キャンパスを統合して学部や学科、学年の垣根を超えた学びを提供する ④キャンパスを再編して、研究施設を集めたり、新しく作ったりする



主な例外規定

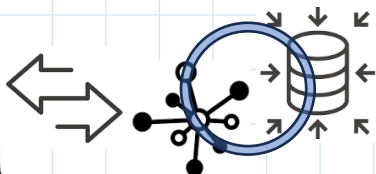
制約も多く活用されていない

①スクラップ・アンド・ビルド

大学の定員を増やさず、既存学部の削減と新設を同時に行うのであれば、学部・学科等の新設は認める



既存学部



新設学部

②高度なデジタル人材

AIやデータサイエンス、DXを担う「高度なデジタル人材」を育成する学部・学科であれば、定員増を認める。ただし、7年以内に定員を戻すこと



「高度なデジタル人材」を育成する学部・学科

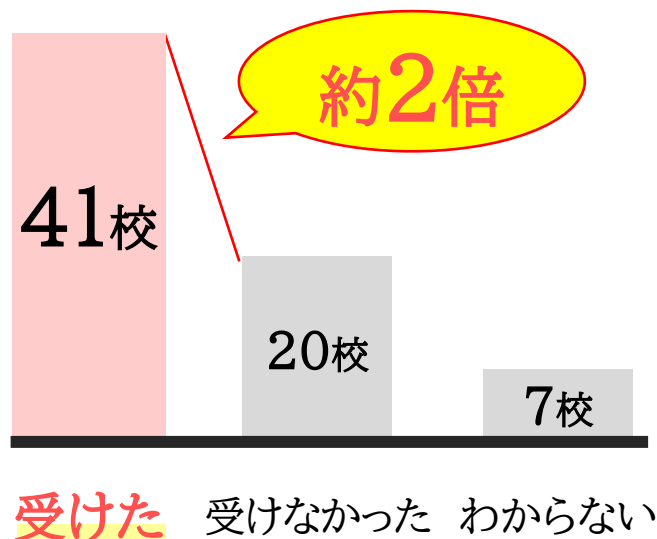
規制は大学改革に大きな影響を及ぼしている

23区にある多くの大学が影響を受けており、
「学部・学科の新設」「キャンパス再編」に支障が生じたといった声が上がっています。

規制の影響を受けましたか？

アンケートに回答した68校のうち、
41校が影響を受けたと答えている。

(N=68校)



※令和7年度東京都実施のアンケート調査による

新しい学部が作れない

- データサイエンス関連の学部新設を構想しているが、既存学部の定員の削減がネックとなり実現できずにいる。
- IT・デジタル関連人材の不足に応える新しい学部を検討したが、規制のために見送った。
- 規制があることで、文理融合で社会課題を学ぶ学部の23区内のキャンパスへの新設を断念し、23区外のキャンパスに設置したが、学生の受け入れが難航している。

大学の改革ができない

- 近隣県のキャンパスの学生も含め異なる学部の学生たちを23区内のキャンパスで共修させたいが、規制によりできない。
- 学部・学科の再編を検討する際、規制に基づいた定員配分の組替えや計画策定を余儀なくされ、結果として当初の予定より体制の整備に時間がかかってしまった。この規制が足かせとなって長期的な計画や将来像が描けず、大学改革が進まない。

※令和7年度東京都実施のアンケート調査・ヒアリングによる

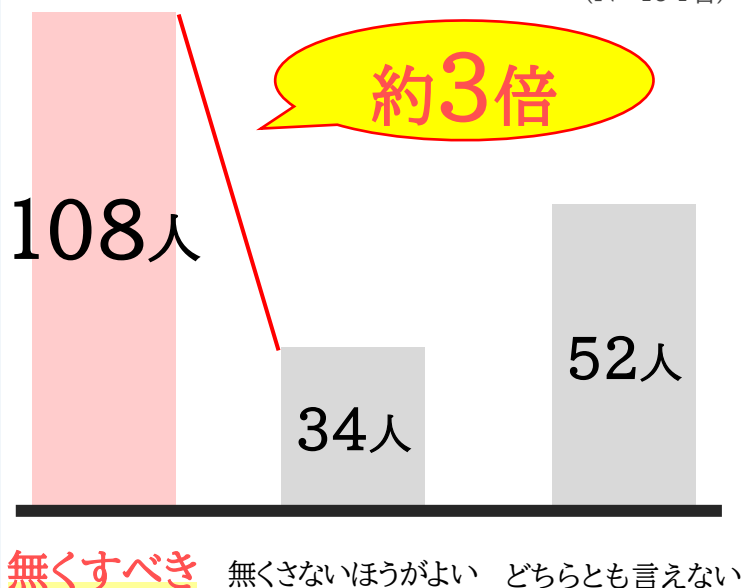
規制を知っている若者の多くは無くすべきと考えている

選択肢が狭まったりすることへの心配の声や

社会の変化に対応した学びや人材育成の妨げとなることへの懸念も示されている

規制は無くすべきだと思いますか？

規制を知っている高校生・大学生のうち、
無くすべきと考えている学生は、
無くさないほうがよいと考えている
学生の3倍以上 (N=194名)



学生の選択肢に関すること

- 23区内の大学へ進学を希望している高校生の選択肢が狭まる (東京都・高校生)
- 東京で新しい価値観で学びたい人の意欲が低下してしまう (静岡県・高校生)
- どの大学に行きたいかは学生が決めることで、その希望を国の都合で潰してしまうのは良くない (沖縄県・高校生)

時代のニーズに沿った学びに関すること

- 時代によって必要となる学びが変わってきている中で、東京23区内にあるというだけで規制するというのは不公平だと思う (岩手県・大学生)
- どんどん新しい学部を作って、時代に即した人材を育成できる環境にするべきだと思う (福島県・高校生)

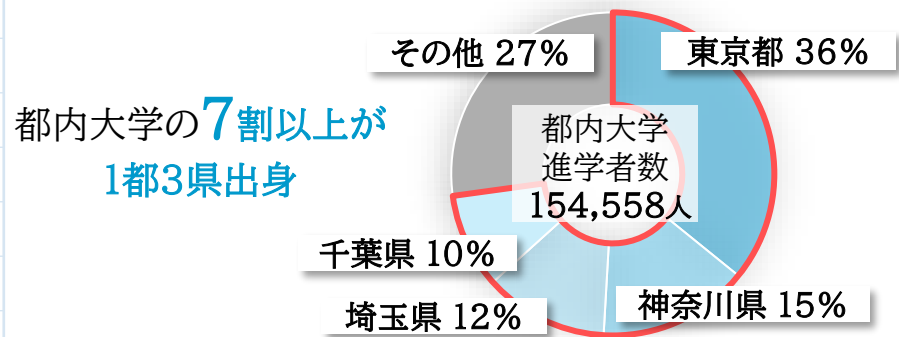
地方の魅力向上に関すること

- 地方の大学に進学してほしいなら地方の大学の魅力を上げるべきであって、東京の大学の魅力が高まるのを抑制するのは本質的な解決になっていないと思う (京都府・大学生)
- 規制ではなく、地方の大学に魅力的な学部を作れば良い (岡山県・高校生)

そもそも規制導入による効果はない

都内大学進学者の7割以上が1都3県出身であり、規制導入後も地方の大学へ進学する学生の割合に大きな変化は見られません。（西日本の多くの府県は都内大学進学者1割未満）

都内大学への進学者の出身都道府県

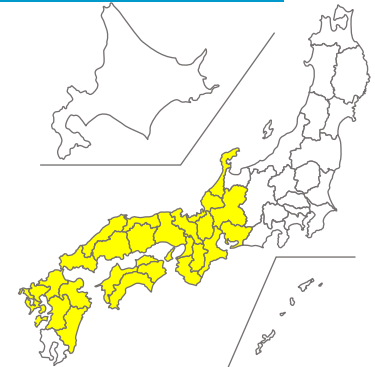


出典：文部科学省「令和7年度学校基本調査」を基に作成

都内大学への進学者割合

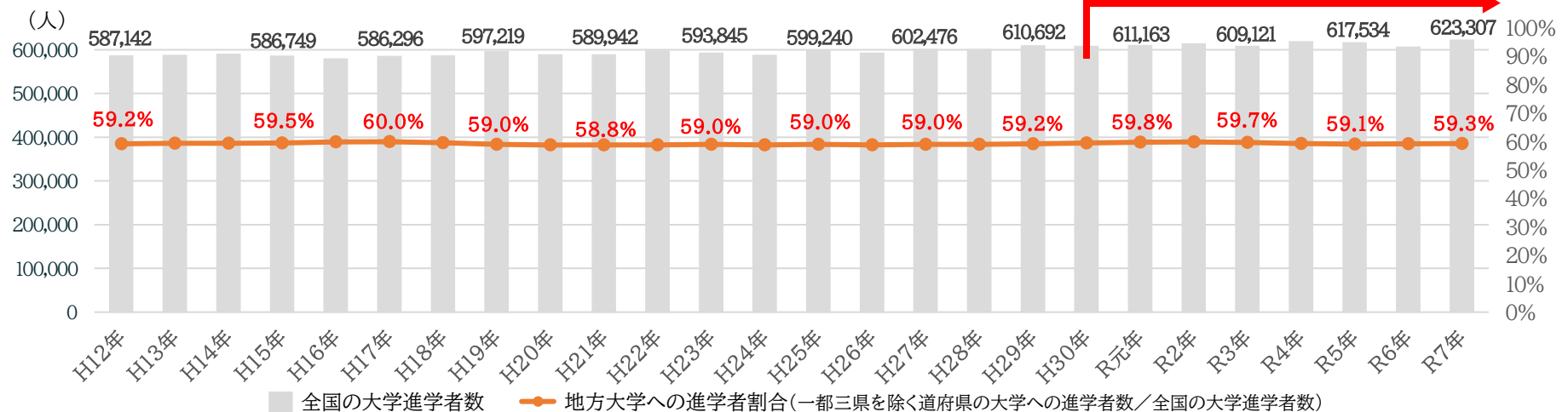
西日本のほとんどの県で
都内大学へ進学する学生の
割合は1割未満

都内大学への進学者数が
1割未満の道府県



出典：文部科学省「令和7年度学校基本調査」を基に作成

地方大学への進学者割合の推移



出典：文部科学省「学校基本調査」を基に作成

規制は国の成長戦略と逆行している

国が掲げる成長戦略の実現に向け、理系人材の育成が不可欠とされる一方、
2040年には、120万人以上もの人材不足が見込まれている。



国際競争が激化する中
国は17の戦略分野への投資を加速



成長の担い手となる理系人材は
124万人不足し育成が急務

<2040年の需給ミスマッチ>

899万人

需要

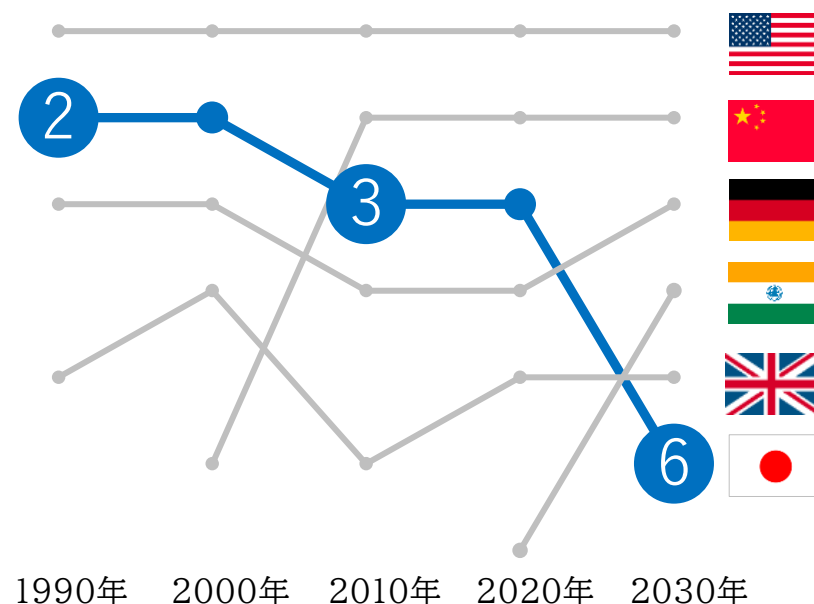
▲124万人

775万人

供給

規制の撤廃による大学改革が不可欠

名目GDPランキング(2030年予測)



出典:IMF「World Economic Outlook April 14, 2026」を基に作成

国際競争を勝ち抜くため、国を挙げた人材育成が必要

まとめ

- 我が国が変化の荒波に直面する中「本当の意味での成長力」が問われている。
- 成長の鍵は「人」である。多様な知見の融合や未来成長分野に挑戦する人材の育成が重要であり、大学が大きな役割を担っている。
- 定員規制は、こうした時代の要請に応えようとする大学の教育・研究体制の改革を妨げている。
- 実際に、多くの大学から規制が妨げになって長期的な大学改革や将来構想を描きづらくなっていると指摘されている。
- 若者からも、規制が社会の変化に対応した学びや人材育成の妨げになることについて、多くの懸念の声がでている。
- そもそも都内大学への進学者の7割以上は1都3県出身であり、規制導入後も地方から地方大学への進学状況に大きな変化は見られず、規制の効果はない。
- 国際競争を勝ち抜き、日本の持続的な成長を実現するためには、23区の大学の規制ではなく、23区の大学も含め総力を挙げて人材育成に取り組むことが必要。
- 国の効果検証が始まるこの機会を捉え、こうした事実や当事者の声がしっかりと反映され、規制が確実に撤廃されるよう、国に強く求めていく。